

授業科目	病理学1	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	水口 徹 (保健医療学研究棟 E314 号) e-mail : tmizu@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(三高俊広)、(一宮慎吾)、齋藤重幸、(久野 篤史)、(久保輝文)、(村田憲治)、(櫻井晃洋)、(宮西浩嗣)、(菫澤慎也)		
概要	病理学1では、臨床看護に必要な病態の基礎となる病理学の総論を体系的に学習する。看護と病理の関係・役割を理解する。細胞レベルで起きる組織の再生や修復のメカニズムを理解する。循環障害として浮腫・出血・血栓塞栓を理解する。炎症と免疫・移植拒絶について理解する。感染症について理解する。先天性代謝異常や遺伝異常症について理解する。老化と死について理解する。腫瘍の基礎を理解する。次年度の病理学2に向けて、基礎的な知識を涵養する。		
到達目標	疾病の病因を理解できるようになることを目的とする。下記の各項目について、基礎的知識を身に付け、要約できる。 1. 病理学の定義・病因, 2. 細胞・組織の機能と障害, 3. 循環障害と凝固線溶異常, 4. 炎症・免疫・生体防御, 5. 感染症の病態、病原微生物の特性, 6. 先天性代謝異常・遺伝病, 7. 腫瘍性病変の特徴		
関連科目	解剖学、生理学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	100%	評価は試験によって行う(100%)。ただし、授業参加の良い場合には10%程度の加点を行う場合がある。
教科書	①大橋健一ら(編) [最新版] 「[系統看護学講座 専門基礎分野] 病理学」 医学書院		
参考書	①岡本 豊 (編) [最新版] 「看護師・看護学生のためのレビューブック」 MEDIC MEDIA ②小林正伸 (著) [最新版] 「[病理学 病態形成の基本的な仕組み]」 南山堂		
履修上の留意点	学習内容の講義順序や講義時間が変更されることがあるので、学生掲示板などで逐次講義予定を確認すること。 教科書はあった方が望ましい。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	病理学概説、病気の原因	事前：指定教科書にて予習する。	講義	水口
2	炎症の概念、急性炎症、慢性炎症、炎症細胞	事前：指定教科書にて予習する。	〃	〃
3	細胞の構造と機能、細胞障害、細胞増殖、細胞死	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(三高)
4	組織再生、組織修復、創傷治癒、異物処理機構	事前：指定教科書にて予習する。	〃	〃
5	老化の概念、老化機構、疾患との関連	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(一宮)
6	循環動態、浮腫、虚血、鬱血、ショック	事前：指定教科書にて予習する。	〃	齋藤
7	出血と止血機構、血栓形成、塞栓、梗塞、DIC	事前：指定教科書にて予習する。	〃	〃
8	環境と栄養異常	事前：指定教科書にて予習する。	〃	〃
9	代謝異常、脂質代謝異常、蛋白代謝異常	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(久野)

10	免疫の概念、生体防御機構	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(久保)
11	免疫認識機構、移植とHLA、自己免疫	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(村田)
12	染色体異常、遺伝病、遺伝子診断、遺伝カウンセリング	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(櫻井)
13	発癌機構、進展と転移、癌の病期、診断の基礎	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(宮西)
14	感染微生物の種類、検出法、伝搬様式、感染病態	事前：指定教科書にて予習する。	〃	(葦澤)
15	細菌感染症、ウイルス感染症、真菌感染症	事前：指定教科書にて予習する。	〃	水口